

【復興支援チャリティーリーグ神奈川U-10】

リーグ要項 2023-2024 シーズン



リーグ名称」復興支援チャリティーリーグ神奈川 U-10

略称」チャリティーリーグ U-10

リーグ趣旨」

- ・2012年より10年間継続してきたチャリティマッチの理念を継承し、東日本大震災ならびに近年の自然災害で被災した地域の方々へ元気を送り支援すること
- ・子供たちのみならず保護者およびチームスタッフなど、関係して下さる方すべての友情の輪を広げる場を提供すること
- ・サッカーを通して、少年・少女の健全な育成を図ること

主催」復興支援チャリティーリーグ神奈川 U-10 実行委員会

会長 松本（アラスサッカーセンター）

リーグ運営管理・結果報告・HP管理

副会長 田中（SCむげん）

リーグ運営管理補助・会計事務局（半期ごとの開催回数・実費報告）

日程」リーグ戦 2023年4月-2024年3月末

推薦チームJヴィレッジ福島交流マッチ（実施にむけて調整中）

チーム数」7チーム（順不同）

アラス横浜／SCむげん／GEO-X FC／山田若竹SC／横浜ワンダーキッズ／橘SC／鶴見東FC

リーグ参加費」18,000円→1,6000円

（リーグ参加費のうち8,000円を寄付金として福島県保健福祉部児童家庭課子供未来局寄付金に寄付）

リーグ方式」全チームとのリーグ戦（総当たり1チーム最低6試合）+交流戦

（リーグ終盤に、推薦チームによる、福島Jヴィレッジ交流マッチを実施予定）

会場提供」各チーム協力のもと実施

開催補助金」①有料施設提供補助金 2.000 円

②開催チーム補助金 1.000 円／1 日

③その他、ナイター使用料、石灰などの実費

実施方法」

・LINE グループを作成し、試合会場日程を募集する。実行委員会でゲームスケジュールを確定し、試合を実施していく。

・会場提供チームが試合要項シート／試合結果シートを LINE グループにアップロードし、試合を実施。

・実行委員会が結果を管理する。(チャリティーリーグ神奈川 U-10 H P)

http://www.alas.jp/Charlity_League_U10.html

競技規則」 基本的に令和 5 年度 (財) 日本サッカー協会競技規則による

・自由な交代 (GK 交代の場合はアウトオブプレーにて交代)

・試合時間は 20 分ハーフ (20-5-20)

・審判は 1 審制もしくは 2 審制を当該チームで相談して決定する

・試合球は当該チームで 4 号球をひとつずつ準備してください

・フィールドは長さ 68M×幅 50 (8 v 8) が望ましいが、グラウンドの都合でお互いのチームが了承すれば 7v7 での実施可

選手登録」

・参加チームは所定選手登録様式に記入し、メールにて選手登録をする

・選手の追加、変更があった場合は実行委員会に変更後の登録用紙をメール送信する

表彰」

・リーグ優勝チームはチャリティーマッチにて作成したチャリティカップを 1 年間保有

・ほか 優勝 準優勝 3 位に表彰状

実行委員会よりリーグ開幕宣言

「12 年前、東日本大震災により、多くの子どもたちがご家族を失いました。そして、福島県では原発事故災害の影響から、住み慣れた土地からも離れなければならなくなり、今もなお多くの人々が避難を余儀なくされています。

その、福島県では、日本サッカー史初のナショナルトレーニングセンター、Jヴィレッジが1997年にオープンし、日本代表やJクラブ、育成年代の合宿から、全国大会の決勝戦などが行われていました。震災後、サッカーの聖地「Jヴィレッジ」は再始動し、このことは、復興のシンボルとして日本全国に勇気を与えてくれる、とても喜ばしいニュースとなりました。

しかしながら、これまでの様々な喪失体験により、いまだに心に多大なる負担がかかっていて、今なお復興への厳しい状況が続いています。

私たちのひとりひとりの出来ることは少ないかもしれませんが、被災した方々が、それぞれ描いていた夢をあきらめることなく、着実に前に進んでいくことができるよう、リーグを通してみんなで元気いっぱいのプレーを届けたいと思います。みなさまどうぞ宜しくお願い申し上げます。」

実行委員会メールアドレス

y.matsumoto@alas.jp